

2012 博士課程教育リーディングプログラム「重粒子線医工学グローバルリーダー養成プログラム」活動一覧  
 【シンポジウム、セミナー等】

\*は「がんプロ」と共催

実施年	実施日	実施内容	演 題	講 師
2012	2月28日	スタートアップシンポジウム	I 重粒子線医工学領域リーダー養成の現状と展望	
			I-I 腫瘍放射線医リーダー養成の観点から	中野 隆史 先生
			I-II 理工学領域のリーダー養成の観点から	金井 達明 先生
			I-III 放射線生物学領域のリーダー養成の観点 から	白尾 智明 先生
			II 特別講演 “The effects of ionizing radiation on brain stem cells and cognitive	Dr. Klas Blomgren (Karolinska Institutet)
			III リーディング大学院プログラムによる教育への提言 ～外部プログラム担当者からの提言～	Ⅲ-I 神谷 富裕 先生、築島 千尋 先生 Ⅲ-II 小野 道隆 先生、秋山 浩 先生 Ⅲ-III 河野 隆志 先生、玉木 義雄 先生
			IV 総合討論 世界に羽ばたくリーダーの養成	和泉 孝志 先生
	10月19日	合同講演会	Carbon ion radiotherapy as a more intensive and less toxic cancer	辻井 博彦 先生 (放射線医学総合研究所)
	11月25日	特別教育講演	泌尿器腫瘍に対する放射線治療の最先端	Dr. Anthony L. Zeitman (ハーバード大学)
	12月4日	重粒子線治療セミナー	Current status of ETOIRE project of carbon ion beam radiotherapy	Dr. Jacques BALOSSO (Centre ETOILE)
	12月7日	公開シンポジウム	I 粒子線治療の高度化に向けた先端的物理工学的技術開発	
			I-I 陽子線治療におけるBeam On-Line PET systemの研究	西尾 禎治 先生
			I-II 超音波の新たな医学利用	山越 芳樹 先生
			I-III 重粒子線治療の高精度化にむけた物理的研究	金井 達明 先生
			II 重粒子線生物学の最先端と脳組織の放射線生物学	
			II-I 重粒子線の感受性に及ぼすDNA二本鎖切断修復の役割	高橋 昭久 先生
			II-II X線照射による脳の変化	小金澤 紀子 先生
			II-III 放射線と神経疾患-脳神経系におけるDNA修復異常-	榎戸 靖 先生
			III 陽子線治療と重粒子線治療の現状と展望	
III-I 陽子線治療の現状と展望			櫻井 英幸 先生	
III-II 重粒子線治療の現状と将来			山田 滋 先生	
III-III Early toxicity and response of carbon ion radiotherapy at Gunma University			大野 達也 先生	
IV 粒子線治療装置の現状と将来	野田 耕司 先生			
12月8日	Nature講習会	ネイチャー論文の書き方セミナー	Dr. Matthew Salter (Editor-in-Chief “Asia-Pacific”)	
12月12日	特別教育講演	Status of the Heidelberg ion beam therapy center	Dr. Oliver Jäkel (ハイデルベルグ大学)	
2013	1月17日	重粒子線物理セミナー	重粒子線治療におけるイオン源・入射器	山田 聡 先生 (群馬大学)
			ブロードビーム照射法における照射装置の設計	高田 義久 先生 (筑波大学)
			粒子線に関するscattering powerおよび拡大ビーム治療計画	兼松 伸幸 先生 (放射線医学総合研究所)
	1月18日		重粒子線治療の線量測定	坂間 誠 先生 (日本大学)
	重粒子線治療におけるシンクロトロン加速器技術		白井 敏之 先生 (放射線医学総合研究所)	
	炭素線scanningの治療計画およびoptimization		稲庭 拓 先生 (放射線医学総合研究所)	
	1月19日		臨床線量の定義と線量測定について	金井 達明 先生 (群馬大学)
	重粒子治療のための生物効果モデル		松藤 成弘 先生 (放射線医学総合研究所)	
	粒子線治療における照射野外線量		米内 俊祐 先生 (放射線医学総合研究所)	
	1月31日		症例検討会 *	肝細胞癌に対する重粒子線治療病理と画像の症例検討会
2月7日	合同講演会 *	Heavy ions in medicine and space exploration	Dr. Marco Durante (ドイツ重イオン研究所)	
3月1日	医工連携セミナー *	次世代動体追跡技術の開発	石川 正純 先生 (北海道大学大学院)	